

地域の自然や文化、人とふれ合う体験活動  
阿東町立生雲小学校

学校の概要

① 学校規模

- 学級数：6学級
- 児童数：37人
- 教職員数：10人
- 活動の対象学年：全学年（37人）

② 体験活動の観点などからみた学校環境

- 阿東町の西部にあり、2007年調べで、人口は1411人。産業は米作農業を中心とした地域である。
- 他都市に職を求めて出て行く人も多く過疎化と共に高齢化の一途をたどり、本校の児童数も年々減少している。
- 生雲地区はかつて町内の中心地の一つとして栄えていたこともあり、地域の人々の愛郷心は強く、愛校心も旺盛で、学校への協力も極めて積極的である。

③ 連絡先

- 〒759-1342  
山口県阿武郡阿東町生雲中319
- 電話：083-954-0109
- FAX：083-954-0098
- 電子メール：  
ikumosho@c-able.ne.jp

体験活動の概要

① 活動のねらい

- 地域の自然や文化、人とふれ合う体験活動を通して、心豊かでたくましく、実践力のある児童の育成を図る。

② 活動内容と教育課程上の位置付け

- 学校行事と各学年の計画による生活科総合的な学習の時間の中で実施する。
  - ア ボランティアなど社会奉仕に関わる体験活動
    - ・ 阿東老人ホームでのボランティア活動（全学年）  
（勤労・生産的行事2時間）
  - イ 自然に関わる体験活動
    - ・ 老人ホーム在所の方々、保育園児と芋の苗植え、芋の収穫活動（全学年）  
（総合的な学習の時間4時間、生活科4時間）
  - ウ 勤労生産に関わる体験活動
    - ・ 米作りにチャレンジ（5年）  
（総合的な学習の時間75時間）
  - エ 文化や芸術に関わる体験活動
    - ・ 萩焼作家の方と萩焼制作（全学年）  
（総合的な学習の時間2時間、生活科2時間）
  - オ 複合した体験活動
    - ・ 保護者の方々と社会見学（全学年）  
（総合的な学習の時間5時間、生活科5時間）

## 1 活動に関する学校の全体計画

### (1) 活動のねらい

地域の自然や文化、人とふれ合う体験活動を通して、心豊かでたくましく、実践力のある児童の育成を図る。

### (2) 全体の指導計画

学 年	体験活動の種類・内容	教育課程上の位置付けと時数	期 間
全学年	「ボランティアなど社会奉仕に関わる体験活動」 ・ 阿東老人ホームでのボランティア活動	勤労・生産的行事 2 時間	1 2 月
全学年	「自然に関わる体験活動」 ・ 老人ホーム在所の方々、保育園児と芋の苗植え、収穫活動	総合的な学習の時間 4 時間 生活科 4 時間	6 月～ 1 0 月
全学年	「文化や芸術に関わる体験活動」 ・ 萩焼作家の方と萩焼制作	総合的な学習の時間 2 時間 生活科 2 時間	6 月
全学年	「その他複合した体験活動」 ・ 保護者の方々と社会見学	総合的な学習の時間 5 時間 生活科 5 時間	6 月～ 1 0 月
5 年	「勤労生産に関わる体験活動」 ・ 米作りにチャレンジ	総合的な学習の時間 7 5 時間	5 月～ 1 1 月

## 2 活動の実際

### (1) 「ボランティアなど社会奉仕に関わる体験活動」

#### ① ねらい

ボランティア活動を通して、「自分の力を周りの人々のために生かすこと」ができる喜びを知る。(総時数 2 時間)



#### ② 活動の展開 (事前・事後指導を含む)

- ねらい達成のための手だて：道徳の時間や学級活動の時間で、高齢者の方々への思いやりの心情を高めておく。

#### ○ 流れ (内容)

- ・ ボランティア活動開始 (縦割り班活動)  
窓ふき作業
- ・ 在所されている方々との交流  
歌、肩もみ、雑談



#### ③ 事後指導

実施後、各学級で活動しての感想を話し合わせることで、これからも在所されている高齢者の方々と、交流していこうとする意欲を高めた。

(2) 「自然に関わる体験活動」

- 老人ホーム在所の方々、保育園児と芋の苗植え、収穫活動（総時数8時間）

生雲地区にある老人ホーム・保育園・小学校の交流の一環として活動している。

児童にとっては保育園児に教える立場であり、老人ホームの方々から教えられる立場ともなり、生雲の自然のやさしさにふれると共に、地域の方々のやさしさにもふれるよい機会となった。



(3) 「文化や芸術に関わる体験活動」

- 萩焼作家の方と萩焼制作（総時数2時間）

生雲地区に隣接する萩から、萩焼作家の方をお招きして萩焼制作に全校児童で取り組んだ。講師の方から萩焼の歴史を学び、自分たちの身近に誇れる芸術があることに驚く児童が多かった。

萩焼制作活動では、分かりやすく丁寧に制作手順を講師の方に教えて頂き、全児童が意欲的に活動した。後日、窯焼きして頂いた自分の作品を見て、焼き色の素晴らしさに多くの児童が感動していた。



(4) 「その他複合した体験活動」

- 保護者の方々と社会見学（総時数18時間）

中山間部に住む児童であるため、海辺の生き物に接する機会は少ない。また、消防訓練所などの施設

を時間をかけ体験させることも難しい。そこで、学校で借り上げたバスを使い、日頃、体験しにくい活動を計画した。保護者にも参加して頂き、児童と感動を共有して頂いた。



保護者とする潮干狩りを、児童は楽しみ意欲的に取り組んでいた。また、消防訓練所での体験は驚きの連続であり、親子共々、貴重な時間を共有できた。



(5) 「勤労生産に関わる体験活動」

- ① ねらい：種まきから収穫までの体験活動を通して、米作りの喜びと苦労を体感する。（総時数75時間）
- ② 活動の展開（事前・事後指導を含む）

活 動 の 流 れ	活動の場	支 援
① 稲の育て方について調べる。 ・ 学習計画をたてる。	学級	・ 社会科の学習と関連づけながら、仕事の内容を調べられるようにする。
② 田んぼの整備をする。 ・ 土作り	指導者宅の田	・ 児童に任せられる活動をできるだけ多くとれるよう、指導者の方との綿密な打ち合わせをした。

③ 種まきをする。	指導者宅の田 学級	
④ 苗を育てる。	学級	
⑤ 田植えをする。	指導者宅の田	・水の管理等は、指導者の方にサポートをお願いした。
⑥ 稲の成長を調べる。	指導者宅の田	・指導者の方と共に活動することで、指導者の方の生き方を学ぶことができるようにする。
⑦ 稲刈りをする。	指導者宅の田	
⑧ 脱穀をする。	指導者宅	
⑨ 収穫した米の取り扱い、指導者の方に感謝の気持ちを伝える方法について話し合う。	学級	・収穫までの肥料代等の経費に目を向け、収穫米の取り扱いを考えることができるようにする。

### 3 体験活動の実施体制

#### (1) 豊かな体験推進委員会

教務部に「豊かな体験推進委員会」を設け、体験活動の意義、実践方法、教育課程上の位置付け、予算について検討していった。構成は、校長・教頭・教務主任・活動に関わる各主任・事務主事である。

#### (2) 配慮事項等

① 体験活動を実施するにあたり、活動の意義を、事前、事後、各参加学級で話し合う場を設けた。

② 活動が意義あるものになるよう、関係者との事前の打ち合わせを入念におこなった。

### 4 体験活動の評価の工夫と指導の改善

参加学級においては、児童が活動を振り返る時間を設定している。また、教師からも改善点等出し合い、次年度の活動に生かせるようにしている。

### 5 活動の成果と課題

児童の感想で、「お年寄りの方の知恵に気づいた。」「働く気持ちよさを知った。」「海の冷たさが心地よかった。」「消防士さんの苦労や素晴らしさが、よく理解できた。」などがあった。自然や人の心に直接ふれ、目には見えないものを感じ取れたようだ。

次年度も豊かな体験活動をより充実、発展させるために、今年度の反省点を踏まえ、各教科と関連させながら、体験活動を教育課程上に位置付けていきたい。